

社内セミナーお問合わせ シート

【連絡担当者】

会 社 名			
事 業 所		業 種	
フリガナ			
担 当 者			
所 属		役 職	
所 在 地	〒		
電 話		F A X	
E-mail			
会 員	☐ 賛助会員 ☐ ISO センター登録組織 ☐ 一般		

【セミナーの詳細】 ※複数セミナーの組合せも可能です。ご相談ください。

セミナー名	☐ IATF16949 基礎講演会	☐ ISO 9001 要求事項の解説セミナー
	☐ ISO 9001 要求事項の詳細解説セミナー	☐ IATF 16949 要求事項の解説セミナー
	☐ IATF 16949 要求事項の詳細解説セミナー	☐ IATF 16949 内部監査員養成セミナー
	☐ VDA要求事項とポイント解説セミナー	☐ コアツール解説セミナー
	☐ 特定コアツール解説セミナー	☐ FMEA解説セミナー
	☐ FMEA統合マニュアル解説セミナー	☐ IATF 16949 要求事項7.2,3/7.2,4対応セミナー
	目 的	
対 象 者 (部署・役職等)	予 定 人 数	
実 施 時 期	年 月 日 上旬 ・ 中旬 ・ 下旬	
実 施 場 所	☐ 社内 ☐ 他事業所 ☐ 別会場 ☐ 未定	
実 施 日 数	☐ 半日程度 ☐ 1日 ☐ 2日間 ☐ その他	
予 算	☐ ￥ —(税込) ☐ 未定	

お問合わせ

IATF 16949:2016

社内セミナーのご案内



社内セミナーとは…

講師(運営スタッフ)が直接、御社(指定場所)へ
自社内でセミナーを開催することができます。

社内セミナーを実施することにより、
どんな**メリット**があるのですか？

最大限のメリットは、
【費用の大幅な削減】になることです。

※ただし、開催地域や参加人数により異なります。

その他のメリット

- 通常研修内容を、御社用にカスタマイズが可能です。

例えば…

- ご希望箇所の講義時間を長く設定し徹底講義
- 演習を業種に沿った形で実践
- 参加者の経験年数、力量などから最も適切なレベルの講義が可能
- 複数規格の統合研修も可能
- 力量・時間・予算などの都合による変更も可能
- 受講生の理解度を図る確認テストの実施も可能
- 開始、終了など時間配分も自由に設定できる(休日、祭日の実施も可能)

- 自社内研修の為、グループディスカッション等による、同業他社への情報漏洩の心配がありません
- 規格、セミナーによっては講師の指名も可能
- 自社内での実施となるため、参加者は開始前・休憩時間などに担当業務へ戻ることができます
- 参加者全員の「交通費」「宿泊費」「各種手当」、そして何より「時間」が削減できます
- 開催当日の運営は、日科技連スタッフが行います
- アンケートの実施により、研修効果を確認できます
- 次のステップアップにつながるテーマや問題など、企業全体として明確になります

その他御社にとってのメリット**が多数あります！**

	No	セミナー	開催時間	参加人数	対象者	内容	演習
導入	1	IATF 16949 基礎講演会	約3時間	特になし	全ての方が対象	IATF 16949とは何か。全体像の理解	×
事前準備	2	ISO 9001 要求事項の解説セミナー	1日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方	ISO 9001の基礎知識・要求事項のポイント解説	△
	3	ISO 9001 要求事項の詳細解説セミナー	2日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方	ISO 9001規格の逐条解説	○
構築・運用	4	IATF 16949 要求事項の解説セミナー	1日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方	IATF 16949の基礎知識・要求事項のポイント解説	△
	5	IATF 16949 要求事項の詳細解説セミナー	2日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方	IATF 16949規格の逐条解説、コアツールの紹介	○
	6	IATF 16949 内部監査員養成セミナー	1日～2日	15名以上 24名以内	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方	IATF 16949内部監査員としての基礎知識の習得	○
	7	VDA要求事項とポイント解説セミナー	1日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方 コアツールに関連する部門のキーパーソン	VDA 6.3の要求事項とIATF 16949についての解説	×
コアツール	8	コアツール解説セミナー	2日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方 コアツールに関連する部門のキーパーソン	5コアツール(APQP, PPAP, FMEA, SPC, MSA)を解説	○
	9	特定コアツール解説セミナー	1日～2日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方 コアツールに関連する部門のキーパーソン	特定コアツールに的を絞った解説	○
	10	FMEA解説セミナー	1日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方 コアツールに関連する部門のキーパーソン	コアツールの1つであるFMEA(故障モード影響解析)の習得	○
	11	AIAG&VDA FMEAマニュアル解説セミナー	1日	15名以上	推進担当事務局・構築担当者、内部監査員を目指す方 コアツールに関連する部門のキーパーソン	2019年6月に発行されたAIAG&VDAに関するFMEAマニュアルの解説	△
監査員力量評価	12	IATF 16949 要求事項7.2.3/7.2.4対応セミナー	2日	15名以上 36名以内	監査構築担当者、第二者監査経験者 社内監査員トレーナー	IATF 16949 要求事項7.2.3/7.2.4規格にある監査力量の実証にあたるスキル評価実施	○

掲載セミナーの 特記事項

- ①講師により講義料金が異なる場合がございます。
- ②IATF規格における研修は、多くのご用命を頂戴しております。開催希望日の半年以上前のご連絡をお勧めいたします。

- ③IATF追加 si には随時対応しております。
- ④参加人数が15名様以下でも実施可能ですが、その場合は別途規定がございます。

申込ステップ

1 ご相談・お問合せ

お電話、メール、FAXなどでお気軽にお問合せください。

2 セミナー企画

貴社様のご相談・依頼の内容を踏まえたカリキュラム・指導講師をご提案します。ご提案内容に沿った費用を算出し、お見積り致します。

3 セミナー準備

企画内容、指導講師、開催日等をご依頼企業様がご納得いただいてから、正式なお申込みを頂いております。テキスト・演習資料の準備は、私共にお任せください。

4 セミナー実施

セミナー実施日には、日科技連スタッフが講師と同行し、準備・運営をサポートします。

5 セミナー終了後の フォローアップ

セミナー終了後、参加者様からのアンケートを集計し、ご返却致します。また、セミナーの成果・効果を踏まえて、次のステップアップにつながる研修のご相談を承ります。

IATF 16949:2016規格に 関連する社内セミナーのご案内

1 IATF 16949 基礎講演会

開催日数 約3時間 参加人数 制限なし

IATF 16949とはどんな規格なのか。全体像について端的に分かりやすく解説いたします。
これから導入するにあたり、経営者・管理職向けまたは全社向けのキックオフ宣言の場としてぜひご活用ください。

カリキュラム(例)

13:00~16:30

- IATF 16949制定の背景と目的
- IATF 16949活用の軸とマネジメントシステムについて
- IATF 16949要求事項のポイントとコアツール解説

2 ISO 9001 要求事項の解説セミナー

開催日数 1日 参加人数 15名以上

IATF 16949を取組むにあたり、ベースとなる規格がISO 9001となります。
ISO 9001 基礎知識として必須となる要点を説明し、1日で全体像、認証制度の仕組み、要求事項のポイントを掴んでいただける内容となっております。

カリキュラム(例)

10:00~16:30

- ISOとは、品質マネジメントとは
- ISO 9000ファミリー規格と認証制度
- 品質マネジメントの原則と基本的考え方
- ISO 9000用語のポイント解説
- ISO 9001規格要求事項のポイント解説
- コースのまとめ、質疑応答

3 ISO 9001 要求事項の詳細解説セミナー

開催日数 2日 参加人数 15名以上

ISO 9001を効率的又は効果的に運用するには、規格要求事項の適切な解釈が必須項目です。
要求事項で使う用語の解説も交え、また難解な部分も具体的に2日間かけた逐条解説の研修内容となっております。

カリキュラム(例)

2日間共に、9:30~17:00

- 品質マネジメントシステム用語と7原則
- ISO 9001 要求事項の解説
- 演習1 要求事項の理解
- 演習2 要求事項と業務との関係の理解
- 理解度確認テスト
- コースのまとめ、質疑応答

4 IATF 16949 要求事項の解説セミナー

開催日数 1日 参加人数 15名以上

IATF 16949を取組むにあたり、規格要求事項の基礎知識として必須となる要点を解説します。
また、1日でIATF 16949全体像、認証制度の仕組み、要求事項のポイント、またコアツールの概要を掴んでいただける内容となっております。

※ISO 9001要求事項に関しては、ご理解いただいていることを前提にして講義を進めます。

カリキュラム(例)

10:00~16:30

- IATF 16949制定の背景と目的
- IATF 16949の概要・特徴
- IATF 16949 要求事項のポイント
- コアツールの紹介
- コースのまとめ、質疑応答

5 IATF 16949 要求事項の詳細解説セミナー

開催日数 2日 参加人数 15名以上

IATF 16949固有の要求事項は、製品のみならず「経営品質」及び設計、製造をはじめとする主要な「プロセス品質」の向上に寄与しております。規格の詳細逐条解説に加え、IATF 16949固有の要求事項への効果的なシステム化・手順化の具体例を用いて解説します。

※IATF 9001要求事項に関しては、ご理解いただいていることを前提にして講義を進めます。

カリキュラム(例)

1日目▶9:30~17:00 2日目▶9:30~16:30

- IATF 16949の概要・特徴
- 自動車産業プロセスアプローチ(COP)
- IATF 16949要求事項の解説
- 演習 要求事項の理解度向上
- コアツールの紹介
- コースのまとめ、質疑応答

6 IATF 16949 内部監査員養成セミナー

開催日数 1日~2日 参加人数 15名以上
24名以内

認証取得および維持、また有効性及び効率の改善を促すことができる内部監査員の養成は、組織にとって最重要課題です。

IATF 16949の内部監査及び供給者に対する第三者監査を実施する上でのポイントとプロセスアプローチによる監査のコツが、自動車産業アプローチ、タートルモデル及びコアツールの活用方法の妥当性に焦点を当てた演習を交えたカリキュラムにより2日間でマスターできます。

カリキュラム(例)

1日目▶9:30~17:00 2日目▶9:30~16:30

- IATF 16949 内部監査員要求事項
- コアツールの監査ポイント
- 自動車産業プロセスアプローチとタートルチャート
- プロセスアプローチ監査とチェックシートの作成
- 監査チェックリスト作成のポイント解説
- 不適合の記述方法
- プロセスアプローチ監査のRP
- 不適合報告書の作成・記述方法のポイント解説
- コースのまとめ、質疑応答

7

VDA要求事項とポイント解説セミナー

開催日数1日参加人数15名以上

VDAと言ってもその内容は多岐にわたっており、全ての内容を学ぼうとすると膨大な時間がかかります。そこで、特にVDA 6.3とIATF 16949に引用されているVDA項目、並びにVDA&AIAGのFMEAマニュアルにスポットをあてその内容及びこれらに対応したシステム構築のポイントを1日で解説する研修内容となっております。

カリキュラム(例)

9:30~16:30

● VDAの概要

● VDA 6.3の要求事項とIATF 16949の関係

● VDA& AIAG FMEAマニュアルについての概要

● VDAの品質監査(プロセス監査と製品監査)

● VDAの技法について

● コースのまとめ、質疑応答

8

コアツール解説セミナー

開催日数2日参加人数15名以上

IATF 16949では、ISO 9001の顧客満足と品質保証に加えて、不具合の予防及びばらつき、ムダの低減に重点をおいた、継続的改善を目的としています。そのために、APQP、PPAP、FMEA、SPCおよびMSAの5コアツール(技術手法)があります。これらの各コアツールについて、演習を含めた解説をするわかりやすい研修内容となっております。

カリキュラム(例)

1日目▶9:30~17:00 2日目▶9:30~16:30

● 先行製品品質計画(APQP)の解説

● 生産部品承認プロセス(PPAP)の解説

● 故障モード影響解析(FMEA)の解説

● 演習1 プロセスFMEAの作成・評価

● 統計的工程管理(SPC)の解説

● 演習2 管理図の作成・評価

● 演習3 工程能力指数の算出・評価

● 測定システム解析(MSA)の解説

● 演習4 GPRの算出・評価

● コースのまとめ、質疑応答

9

特定コアツール解説セミナー

開催日数1日~2日参加人数15名以上

5つのコアツール(APQP、PPAP、FMEA、SPC、MSA)から、貴社内で特に強化したい技術手法だけで組合せその部分のみ集中的に研修を実施することが可能です。

カリキュラム(例)

9:30~16:30(例えば、PPAP、SPC、MSAのみで実施)

● PPAP(生産部品承認プロセス)の解説

● SPC(統計的工程管理)の解説

● 演習1 管理図の作成・評価/工程能力指数の算出・評価

● MSA(測定システム解析)の解説

● 演習2 GRRの算出・評価

● コースのまとめ、質疑応答

10

FMEA解説セミナー

開催日数1日参加人数15名以上

自動車に限らずあらゆる製造業にとって、製品の品質確保と顧客満足のためには、製品に潜在するリスクを設計段階で考慮し、早い段階でリスク低減の処置をとることが効果的です。当セミナーでは、IATF 16949で要求されている、設計FMEAおよびプロセスFMEAについて、その実施方法を具体的な演習を含めて、わかりやすく説明します。なおFMEAは、ISO 9001:2015でも活用できる、リスク低減の効果的な技術手法といえます。

カリキュラム(例)

9:30~16:30

● FMEAの概要と効果的運用のポイント

FMEAとは／成功のためのポイント／概要(実施時期～顧客の定義)／FMEA実施のステップ／FMEAの維持／実施例／実施手順書

● 演習 プロセスFMEAの作成・評価の演習

● コースのまとめ、質疑応答

11

AIAG&VDA FMEAマニュアル解説セミナー

開催日数1日参加人数15名以上

IATF 16949のコアツールであるFMEAマニュアルが改訂され、AIAG&VDA FMEAマニュアルとして新規発行されました。従来の評価基準が全面的に変更されるとともに、リスク低減指標として、RPN(リスク優先数)がなくなり、新たにAP(Action Priority:アクション優先度)が登場するなど、種々の変更が行われています。新しく発行されたマニュアルの内容を解説するだけでなく、演習を通じて理解を深めていただける内容となっております。

カリキュラム(例)

9:30~16:30

● FMEAの基礎、設計FMEA、プロセスFMEAについて

● ISO 26262の概要、FMEA-MSRについて

● 演習1 FMEA構造解析、機能分析

● 演習2 FMEA故障解析、リスク分析

● コースのまとめ、質疑応答

12

IATF 16949 要求事項7.2.3/7.2.4対応セミナー

開催日数2日参加人数15名以上36名以内

IATF 16949 内部監査員や第三者監査員は、単に適合・不適合を判定するだけでなく、指摘した内容がなぜ問題なのかを説明し、その後どのように改善すべきかを指導する力量が必要です。そのためIATF 16949の要求事項の意図の理解に加えVDAや国内外のOEMの主要要求事項にも精通し、またシステムの有効性改善とパフォーマンス改善を促すプロセスアプローチ監査手法の習得も必須となります。またさらにその上の社内監査員トレーナーは、これらの効果的な指導方法までも身につけなければなりません。そのような要望を網羅する形での研修内容となっております。

※カリキュラムに、実技評価及び知識度評価を含み、内部監査員・第三者監査員並びに社内トレーナーの「力量の実証」記録の1つとしての「スキル評価結果」と「修了証書」を1人毎発行します。

カリキュラム(例)

1日目▶9:30~17:00 2日目▶9:30~16:30

● 内部監査員・第三者監査員 レベルアップのポイント

● スキル評価演習 ケーススタディによるスキル評価

● 単なる適合性監査からの脱却

● スキル評価演習 ロールプレイ演習によるスキル評価

● 社内トレーナーの役割と実践

● スキル評価演習&確認テスト

【参加者の方のレベル】を設定しております。
①IATF 16949 及びISO 9001規格、並びにコアツールをご理解いただいている方
(IATF 16949要求事項の詳細解説コース、コアツール解説コースの受講経験済みレベル)
②IATF 16949内部監査員コースを修了された方、もしくは、社内監査員トレーニングを受けて、IATF内部監査員又は第三者監査員として実務経験を有している方